

平成27年度

”釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ” 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 代表 桐木 茂雄	報告年月: 2016/3/31
-----------------------------	------------------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	①まちを知る・人を知る(仕組み・組織・ネットワーク)	1	シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェP	平成27年4月17日	約10名		地域の「自然」を知り、活かすための活動として、弟子屈空港跡地を利用したそらの森植樹会を開催した。地域の「産業」を知り、活かす活動として、地域食材を活用したシーニックカフェの連携活動を行った。さらに、今年度はシーニックバイウェイ北海道が包括連携協定を結んでいるトヨタレンタリース札幌様と個別に連携し、夏休みや秋のシルバーウィークの道内観光客をターゲットとしたPR活動を実施した。	
		②自然環境を知る・活かす	2	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成27年10月31日	約80名	A - 2		
		③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	3	トヨタレンタリース札幌 札幌駅東店でのPR活動	観光交流部会	平成27年7月7日～11月10日	アンケート回答者は100名	A - 1		
		④温泉を知る・活かす	—	—	—	—	—			
		⑤体験活動を知る・活かす(自然体験、産業体験、フットパスなど)	2	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成27年10月31日	約80名	A - 2		
	2) 食を知る・活かす	①地場産品を知る・伝える	4	阿寒IC開通記念 阿寒マルシェパーティーでのPR活動(臨時シーニックカフェ)	シーニックカフェP 観光交流部会	平成28年3月12日～13日	不明		地域の「食」を知り、活かすため、地域の名産品をPRする活動を行った。具体的には3月に開通した阿寒IC開通記念の阿寒マルシェパーティーにおいて、シーニックパネル展と臨時シーニックカフェを開催した。また、ルートの特産品のブランド化に向けた検討を行った。	
			3	トヨタレンタリース札幌 札幌駅東店でのPR活動	観光交流部会	平成27年7月7日～11月10日	アンケート回答者は100名	A - 1		
		②新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	5	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイのブランド化検討	運営委員会	平成27年9月～平成28年3月	約10名			
	3) 文化や歴史を知る・活かす	①地域の各種文化を知る・活かす	—	—	—	—	—		地域の「歴史」を知り、活かすため、昭和初期に撮影した、阿寒や弟子屈の写真をルート内巡回写真展として開催した。	
		②地域の歴史を知る・活かす(開拓の歴史、酪農産業遺産など)	6	懐かシーニックパネル展の開催	景観まちづくり部会	平成27年6月16日～平成27年12月17日	不明			
	②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり <整える・つなぐ>	1) 地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	①沿道の自然と暮らしの佇まいの景観を守る	7	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成27年8月30日	約20名		地域の「沿道環境」を整える活動として、沿道花壇への植栽や駐車帯清掃、リレー清掃によって、道路の美化を進めた。今年度はこれまでの清掃活動に加え、グッドロードの候補区間として提案した中標津ミルクロードにおいて、清掃活動を実施した。
				8	リレー清掃への参加	景観まちづくり部会	平成27年6月13日	約300名		
				9	沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	平成27年6月	主催側約1000名		
10				グッドロード候補区間の清掃	景観まちづくり部会	平成27年11月1日	約10名			
②沿道の景観を整理・改善する			7	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成27年8月30日	約20名			
			10	グッドロード候補区間の清掃	景観まちづくり部会	平成27年11月1日	約10名			
③物語のある道をつくる			6	懐かシーニックパネル展の開催	景観まちづくり部会	平成27年6月16日～平成27年12月17日	不明			
④地域が担い・育てる景観づくりを進める			7	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成27年8月30日	約20名			
			9	沿道花壇への植栽	景観まちづくり部会	平成27年6月	主催側約1000名			
			10	グッドロード候補区間の清掃	景観まちづくり部会	平成27年11月1日	約10名			

2) 観光客を受け入れる環境を整える	①おもてなしの質を整える	1	シーニックカフェスタッフミーティング	シーニックカフェP	平成27年4月17日	約10名	観光客が地域をドライブする際に、美しい景観の場所とともに地域の美味しいカフェを巡れるようなスタンプラリーを実施した。また、シーニックカフェスタッフによるミーティングを通して、カフェにおいて地域の美味しい食材を届けるとともに、地域の最新情報を提供できるような検討を行った。さらに、地域を代表する道の駅である道の駅摩周温泉において、長期滞在者へのアンケート調査を行い、利用者の利用状況、ニーズを把握した。		
		11	くしろ・ねむろ ぐるっと！スタンプラリーの実施		平成27年7月1日～平成27年10月31日	一般参加(応募者)850名			
	②既存施設の質を整える	12	道の駅摩周温泉での長期滞在者調査	運営委員会	平成27年8月11日～14日、平成27年9月19日～22日				
	3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	13	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年3回(夏期、秋期、冬期)、阿寒IC開通記念特別号	2万5千部	観光客が地域をドライブする際に、景観の良いルートや場所、美味しいカフェといった地域の魅力をうまく巡れるような情報媒体を作成し、提供した。	
				②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	—	—	—		
	4) 各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供(きめ細かい地元情報の発信)	3	トヨタレンタリース札幌 札幌駅東店でのPR活動	観光交流部会	平成27年7月7日～11月10日	アンケート回答者は100名	地域を巡る観光客が安全、快適に地域のドライブルートを走行し、景観の良い場所やおいしいカフェを訪れられるように、地域マップやSNSでの情報提供を行った。	
			13	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年3回(夏期、秋期、冬期)、阿寒IC開通記念特別号	2万5千部		
			14	HP、Facebookによる地元情報の発信	情報広報部会	通年			
		②観光案内施設等による情報提供	13	道東エンジョイマップの作成と配布	情報広報部会 観光交流部会 シーニックカフェP	年3回(夏期、秋期、冬期)、阿寒IC開通記念特別号	2万5千部		
		③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	14	HP、Facebookによる地元情報の発信	情報広報部会	通年			
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1) 自然と共に生きる意識を育てる	①地域(子ども達)への環境教育	2	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成27年10月31日	約80名	平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での森づくり活動を本年も実施し、地域の子供たちと一緒に駐車帯の清掃活動も実施した。また、ルートオリジナルグッズとして、タンブラーを販売し、販売額の一部をそらの森の植樹に活用した。	
			7	駐車帯清掃の実施	景観まちづくり部会	平成27年8月30日	約20名		
		②来訪者(観光客)へのインタープリテーション	15	ルートオリジナルグッズの販売	シーニックカフェP	通年	A - 2		
	2) 自然を保全・活用する仕組みを創る	①自然を守るルールをつくる		—	—	—	—	平成22年度より継続して実施しているそらの森(弟子屈飛行場跡地)での植樹活動を本年も実施した。また、ルートオリジナルグッズとして、タンブラーを販売し、販売額の一部をそらの森の植樹に活用した。	
			②自然を保護・育成する仕組みをつくる	2	そらの森 植樹会	景観まちづくり部会	平成27年10月31日		約80名
			15	ルートオリジナルグッズの販売	シーニックカフェP	通年			A - 2
	3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	5	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックパイウェイのブランド化検討	運営委員会	平成27年9月～平成28年3月	約10名	ルートの特産品のブランド化に向けた調査、検討を行った。	
			②地域経済循環の仕組みを創る		—	—	—		

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：トヨタレンタリース札幌でのPR活動（観光交流部会）

- 【概要】 シーニックバイウェイ北海道が包括連携協定を結んでいる（株）トヨタレンタリース札幌と連携して、夏休みやシルバーウィークの交流人口の増加をめざしたPR活動を実施した。同時に、トヨタレンタリースと釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイが協働で行うアンケート調査（地域の魅力、レンタカーの利用状況）を実施し、連帯感を高めるとともに、調査結果を双方で共有して活用することとした。
- 【日時】 平成27年7月7日～11月10日
- 【場所】 トヨタレンタリース札幌 札幌駅東店（札幌市中央区北5条東1丁目2-4）
- 【主催】 観光交流部会
- 【参加人数】 不明（アンケートの回答者 約100名）



シルバーウィークの観光客をターゲットにしたPRの状況



天然水摩周湖の当たるアンケートを実施し、地域の魅力を調査



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Clear Stream Scenic Byway

活動名：そらの森 植樹会（景観まちづくり部会）

ルートオリジナルグッズの販売（シーニックカフェP）

【概要】景観まちづくり部会では、そらの森（弟子屈飛行場跡地）での植樹活動を継続的に実施している。地域の子供達や障がい者とともに、飛行場跡地の植樹活動を通じて、カーボンオフセットのシーニックの森づくりを行った。継続的な森づくりには維持、管理の経費も必要となることから、タンブラーなどのルートオリジナルグッズの販売を行い、売上金の一部をそらの森の苗木代、維持管理費として活用している。

【日時】平成27年10月31日 9時～14時

【場所】そらの森（弟子屈町飛行場跡地：一般国道241号沿い）

【主催】景観まちづくり部会、シーニックカフェプロジェクト

【参加人数】約80名



4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2016/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
①地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり<知る・活かす>	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業) 2) 食を知る・活かす 3) 文化や歴史を知る・活かす	そらの森 植樹会	平成27年10月31日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町内で開催された植樹会に、釧路開発建設部から職員が参加。 ・弟子屈町広報誌にて植樹活動の様子を紹介。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	
	★道東道開通PR活動でのルート紹介等パンフレット配布	通年	釧路開発建設部 釧路市	・道東道開通PRイベント等において、釧路ルートのパネル展示や開通告知パンフレット配布の際にシーニックバイウエイ関連のパンフレットを配布し、情報発信を行った。			
②個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり<整える・つなぐ>	1) 地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える 2) 観光客を受け入れる環境を整える 3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する 4) 各種情報を伝える・蓄える	リレー清掃への参加	平成27年6月13日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町で開催された摩周湖クリーンウォークに、釧路開発建設部、弟子屈町役場の職員が参加。 ・弟子屈町広報誌にて清掃活動の様子を紹介。	・行政連絡会議構成メンバー間の情報共有を密にするとともに、無理のない範囲で積極的な広報活動に取り組んだ。 ・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	
		沿道花壇への植栽	平成27年6月	釧路開発建設部	・釧路開発建設部では、VSP活動の一環として花苗等を提供した。		
		クリーンウォークへの参加	平成27年8月30日	釧路開発建設部	・釧路市阿寒町及び弟子屈町にて開催されたクリーンウォークに、釧路開発建設部の職員が参加。		
		シーニックカフェへの観光パンフレットの提供	通年	釧路市、標茶町、弟子屈町、中標津町、別海町、鶴居村	・ルート内各自治体が観光パンフレットを提供することにより、シーニックカフェから魅力的な地域情報を発信することができた。		
		くしろ・ねむろ ぐるっと!スタンプラリーへの協力	平成27年7月1日～平成27年10月31日	釧路開発建設部	・スタンプラリー実施にあたり、釧路開発建設部では、参加各「道の駅」との調整や報道発表を行った。		
		道東エンジョイマップの発行・配布	年3回(夏期、秋季、冬期)	釧路開発建設部	・道東エンジョイマップの発行にあたり、中面ヒヤリハットマップの作成を釧路開発建設部が行った。また、道の駅やレンタカー会社への配布を行った。		
		広報(ホームページ)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・ルートHPバナーやリンクを掲載し、ルートのPRを行った。		
		広報(ポスターの掲示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・ルートのポスターを各行政機関にて掲示することで、ルートのPRを行った。		
		広報(リーフレット類の庁舎内展示)	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイルート運営行政連絡会議	・道東エンジョイマップやルートマガジンを庁舎内に展示することにより、ルートのPRを行った。		
③地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり<創る・整える>	1) 自然と共に生きる意識を育てる 2) 自然を保全・活用する仕組みを創る 3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	そらの森 植樹会	平成27年10月31日	釧路開発建設部 弟子屈町	・弟子屈町内で開催された植樹会に、釧路開発建設部から職員が参加。 ・弟子屈町広報誌にて植樹活動の様子を紹介。	・次年度以降も着実に取り組んで参りたい。	

※表中“★”は、H27新規に実施した活動